

取扱説明書

つなぎかたガイド

接続・設定するときにお読みください

NEC
NWA-A12044-003-00
2024年3月

Aterm WG2600HS2 PA-WG2600HS2

本書は、読んだあと大切に保管してください。

技術基準適合認証証

ユーザーズマニュアルはサポートデスクに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(※下記「本商品の取扱説明書について」)

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

重要

本商品をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWERランプが点灯しますので、絶対に本商品の電源を切らなさいください。

バージョンアップ中は、本商品に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

このたびはAterm WG2600HS2をご利用いただき、まことにありがとうございます。

Aterm WG2600HS2 (以下、本商品と呼びます。)は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠した、IPv6対応のWi-Fi (無線LAN) ホームルータです。

箱の中身を確認する

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

添加品

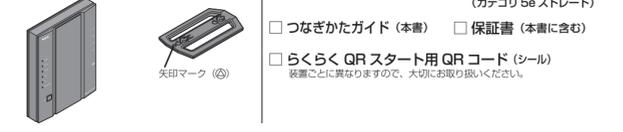
- WG2600HS2
- スタンド
- ACアダプタ
- LANケーブル (カテゴリ5e 1メートル)
- つなぎかたガイド (本書)
- 保証書 (本書に含む)
- らくらくQRスタート用QRコード (シール)

裏面に「中継機/子機として使用する場合は」を参照してください。

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。(2024年3月現在)

- つなぎかたガイド (本書)
 - 基本的な接続パターンを例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。
- ユーザーズマニュアル (Webサイトに掲載)
 - 本商品のさまざまな機能を利用してできること、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の基本事項についても記載しています。
 - 右記QRコードまたは下記から参照してください。
 - サポートデスク (※裏面「お問い合わせ・保守サポート」) - 「マニュアル」 - 「ユーザーズマニュアル」



各部の名称

POWERランプ (電源)
ACTIVEランプ (通信状態表示)
2.4GHzランプ (2.4GHz帯用Wi-Fi通信状態表示)
5GHzランプ (5GHz帯用Wi-Fi通信状態表示)
TVランプ (TVモード通信状態表示)
CONVERTERランプ (親機・子機状態表示)

LANポート
LANランプ (LANポート状態表示)

WANポート
WANランプ (WANポート状態表示)

ACアダプタ
接続コネクタ

保守ボタン
保守用のボタン。通常動作中は使用しません。

RESETスイッチ
初期化するとき使用。

RT/BR/CNVモード
切替スイッチ
ブリッジモードおよび中継機/子機に切り替えるときに使用。(工場出荷状態はRT側)

SETボタン
WPS設定時に使用。

本商品の動作モードを確認する

本商品を設置・接続する前に、ご利用の動作モードをご確認ください。

※ルータ機能内蔵のプロードバンドモデムがすでにインターネット接続している場合、本商品はブリッジモードでご利用ください。

Wi-Fi (無線LAN) ホームルータとして使用する場合は

右記STEP1 → STEP2 → STEP3 → STEP4の順にお進みください。

●既存の親機と入れ替える場合は>

●既存の親機がWPSに対応していない場合

Wi-Fi設定引越し機能で、それまで使用していたWi-Fi設定内容 (ネットワーク名 (SSID) および暗号化キー) を本商品に引き継ぐことができます。(子機のWi-Fi接続設定は変更せずに使用できます。)

Wi-Fi設定引越し機能の設定方法や詳細については、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

Wi-Fi設定引越しが完了したら、STEP1 → STEP3 → STEP4の順にお進みください。

※既存の親機の仕様によっては、引き継ぎがうまく動作しない場合があります。(ユーザーズマニュアル)

●既存の親機がWPSに対応していない場合

既存の親機を取り外したあと、STEP1 → STEP2 → STEP3 → STEP4の順にお進みください。

ブリッジモード (ルータ機能停止) で使用する場合は

裏面の「ブリッジモード (ルータ機能停止) で使用する場合は」を参照してください。

中継機/子機として使用する場合は

裏面の「中継機/子機として使用する場合は」を参照してください。

設置・接続をはじめる前に

事前に準備してください

- 接続事業者/プロバイダとの契約を済ませ、インターネット回線が開通していることを確認してください。
- 接続事業者/プロバイダから提供された、インターネット接続設定用ID (ユーザ名・ユーザID・認証IDなど) とパスワードが記載された書類を、お手元に準備してください。
- 接続事業者/プロバイダなどのサービスによっては、不要の場合もあります。
- 本商品をより安全にお使いいただくため、本商品の暗号化キーと管理者パスワードを決めて、控えておいてください。(STEP4で設定します。)

暗号化キー控え欄

暗号化キーとは、Wi-Fi接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。工場出荷状態では本商品本体のラベルに記載された値となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、STEP4にて、2.4GHz帯、5GHz帯それぞれに任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「暗号化キー控え欄」に控えておきましょう。

※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた13桁以上の文字列をお勧めします。

※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。

※使用できる文字は、8～63桁の半角英数字(0～9、a～z、A～Z、記号[ユーザーズマニュアル])、または半角64桁の16進数(0～9、a～f、A～F)です。

※Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、STEP4での暗号化キーの変更は不要です。

2.4GHz帯	_____
5GHz帯	_____

【管理者パスワード】

管理者パスワードとは、本商品の設定画面を開く際のパスワードです。工場出荷状態では本商品本体のラベルに記載された英数字8桁のパスワード (Web PW) となりますが、本商品をより安全にお使いいただくため、STEP4にて任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「管理者パスワード控え欄」に控えておきましょう。

※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた10桁以上の文字列をお勧めします。

※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測されやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。

※使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、(ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角64桁まで有効です。

管理者パスワード控え欄	_____
-------------	-------

STEP 1 本商品を設置して電源を入れよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

※前後左右5cm、上5cm以内に他の機器や壁がない場所に設置してください。壁掛けの場合は、壁掛け面を除きます。

1 スタンドを取り付ける

■接続する場合
本体前面にスライドさせて固定します。

■横置き/壁掛けの場合
本体前面 (ラベル側) にスライドさせて固定します。

スタンドの裏側にスライドさせてください。

スタンドの矢印マーク (2) を確認し、取り付け方向にカチッと音がするまでスライドさせる
※スタンドの矢印マーク (2) は親機での場合は本体前、子機の場合は本体上になるよう設置してください。

＜壁掛けする場合の取り付け方＞

1. 壁に、スタンドの矢印マーク (2) を上方に向けてネジで固定する
2. 本体前面 (ラベル側) の取り付け穴にカチッと音がするまでスライドさせて固定する

※取り付けるときは、本体の前面を手で持ち、上方へスライドさせてから取り外してください。

ネジ (2本はお客様でご用意ください。)
付属: 丸頭 木ネジ M3.1x16

インターネット

2 パソコンの電源を切る

すでにインターネット接続している環境の場合は、ブロードバンドモデムなどに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンからLANケーブルを外します。

3 ブロードバンドモデムなどの電源を切る

＜ブロードバンドモデムの例＞
CATVモデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど

4 本商品のWANポートとブロードバンドモデムなどをLANケーブルで接続する

LANケーブル (添付品)

ブロードバンドモデムなど

5 ブロードバンドモデムなどの電源を入れる

ACアダプタを本商品と電源コンセントに接続すると、本商品の電源が入ります。いったん側面 (表) のすべてのランプが緑点灯します。正常動作するまで約90秒お待ちください。

カチッと音がするまで差し込んでください。

ACアダプタ接続コネクタ

RT側のままにしておいてください。

警告

- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ぬじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。

●ACTIVEランプが濃い緑点滅をしている場合は

→ 動作モードの自動判定中です。しばらくお待ちください。

●5GHzランプ、TVランプが緑点灯している場合は

→ 電波干渉を避けるためにチャンネルをサーチしています。さらに約60秒お待ちください。

7 本商品のPOWERランプが緑点灯、ACTIVEランプが消灯または緑点灯、2.4GHz、5GHz、WANランプが緑点灯または緑点滅することを確認する

POWER 緑点灯
ACTIVE 消灯または緑点灯
2.4GHz、5GHz 緑点灯または緑点滅

WAN 緑点灯または緑点滅

※WANランプが点灯している場合は、LANケーブルの接続状態やブロードバンドモデムなどの電源を確認してください。

続いて、工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機からWi-Fi接続します。STEP2へお進みください。

※Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、STEP3へお進みください。

※本商品に有線接続する場合は、本商品と端末 (パソコンなど) の電源を切った状態で本商品のLANポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約90秒待ち、STEP3へお進みください。

STEP 4 セキュリティを強化しよう

★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。

本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キーと管理者パスワードは、初期値 (工場出荷状態の値) から変更してください。

複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。

※Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、下記の手順①、②のみ実施してください。

1 クイック設定Webを起動する (※裏面「クイック設定Webの起動方法」)

2 暗号化キーを変更する

2.4GHz帯、5GHz帯それぞれに任意の文字列を設定します。

[Wi-Fi (無線LAN) 設定] - [Wi-Fi詳細設定 (2.4GHz)] 画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリSSIDを選択し、「[暗号化]」を開いて「[暗号化キー]」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた2.4GHz帯の暗号化キー (任意の文字列) を入力して、「[設定]」をクリックしてください。

暗号化キーを変更することで、子機からのWi-Fi接続が切断される場合があります。その際は右記「暗号化キーを変更した本商品にWi-Fi接続する」を参照して、Wi-Fi接続を直してください。

※暗号化キーは、変更した値を入力してください。

ホーム画面に戻る、またはクイック設定Webを起動して、同様に5GHz帯の暗号化キーも設定してください。

3 管理者パスワードを変更する

ホーム画面に戻る、またはクイック設定Webを起動して、「[詳細な項目を表示]」 - 「メンテナンス」 - 「管理者パスワードの変更」画面で、現在のパスワード欄に手順②でログインした初期値の管理者パスワード (Web PW) を入力し、「新しいパスワード」「新しいパスワード再入力」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた管理者パスワード (任意の文字列) を入力して、「[設定]」をクリックしてください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、サポートデスクに掲載のユーザーズマニュアルを参照してください。

STEP 2 工場出荷状態の本商品にWi-Fi接続しよう

工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機からWi-Fi接続します。本商品のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。

詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※チャンネルがW56に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「[使用チャンネル]」を「[W52]」または「[W53]」に設定してください。設定は、クイック設定Web (※裏面「クイック設定Webの起動方法」) の「[Wi-Fi (無線LAN) 設定]」 - 「[Wi-Fi詳細設定 (5GHz)]」画面で行ってください。

2台目以降の子機は、下記「[暗号化キーを変更した本商品にWi-Fi接続する]」を参照してください。

以下はWi-Fi接続方法の主な例です。

スマートフォン/タブレット端末の場合

らくらくQRスタートでWi-Fi接続する

AtermらくらくQRスタートは、インターネット接続機能 (LTE通信や3G通信など)、カメラ機能に対応している端末で、無料でご利用いただけるアプリです。ただし、パケット通信料はお客様が負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記のWebサイトでご確認ください。(2024年3月現在)

https://qr.aterm.jp/

手動でWi-Fi接続する

※以下はiOS端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

- 1 ホーム画面などから「[設定]」をタップする
- 2 [Wi-Fi] をタップする
- 3 [Wi-Fi] をオンにして、本商品のプライマリSSIDと同じ名をタップする

※本商品のプライマリSSIDは、本商品本体のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。接続視認などの高速通信には5GHz帯の「[atern-XXXXXX-a]」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。

4 [パスワード] に、本商品の暗号化キーを入力し、「[Join]」 (または「[接続]」) をタップする

※iOS端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例 Android 端末の一例

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。

※管理者パスワードを求められた場合は、本商品本体のラベルに記載された英数字8桁のパスワード (Web PW) を入力してください。

※「ユーザーID」/「パスワード」は、お客様がご利用の接続事業者/プロバイダから提供されているインターネット接続設定用ID (ユーザ名・ユーザID・認証IDなど) とパスワードを入力してください。

設定後、インターネットに接続できたら、STEP4へお進みください。

4 Wi-Fiの設定内容が表示されたら、「[設定適用]」をタップする

※iOS端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。

※管理者パスワードを求められた場合は、本商品本体のラベルに記載された英数字8桁のパスワード (Web PW) を入力してください。

※「ユーザーID」/「パスワード」は、お客様がご利用の接続事業者/プロバイダから提供されているインターネット接続設定用ID (ユーザ名・ユーザID・認証IDなど) とパスワードを入力してください。

設定後、インターネットに接続できたら、STEP4へお進みください。

4 Wi-Fiの設定内容が表示されたら、「[設定適用]」をタップする

※iOS端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

続いて、工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機からWi-Fi接続します。STEP2へお進みください。

※Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、STEP3へお進みください。

※本商品に有線接続する場合は、本商品と端末 (パソコンなど) の電源を切った状態で本商品のLANポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約90秒待ち、STEP3へお進みください。

暗号化キーを変更した本商品にWi-Fi接続する

暗号化キーを変更した本商品に、ご利用の子機から手動でWi-Fi接続します。

本商品のネットワーク名 (SSID) およびSTEP4で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。(接続する子機は、18台以下をお勧めします。)

詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※チャンネルがW56に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「[使用チャンネル]」を「[W52]」または「[W53]」に設定してください。設定は、クイック設定Web (※裏面「クイック設定Webの起動方法」) の「[Wi-Fi (無線LAN) 設定]」 - 「[Wi-Fi詳細設定 (5GHz)]」画面で行ってください。

以下はWi-Fi接続方法の主な例です。

スマートフォン/タブレット端末の場合

※以下はiOS端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

- 1 ホーム画面などから「[設定]」をタップする
- 2 [Wi-Fi] をタップする
- 3 [Wi-Fi] をオンにして、本商品のプライマリSSIDと同じ名をタップする

※本商品のプライマリSSIDは、本商品本体のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。STEP2で接続したプライマリSSIDを選択してください。

4 [パスワード] に、STEP4で変更した本商品の暗号化キーを入力し、「[Join]」 (または「[接続]」) をタップする

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例 Android 端末の一例

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

STEP 3 インターネットに接続しよう

★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。

1 Webブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome など) を起動する

2 当社ホームページ (下記URL) にアクセスする (2024年3月現在)

https://www.necplatforms.co.jp/

アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

2台目以降の子機をWi-Fi接続する際は、下記を参照して手動で設定してください。

無線LAN内蔵パソコンの場合 (Windows 10の場合)

※以下のパソコンはサポートとはなりません。

- 1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする
- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする
- 3 ネットワークの一覧の中から、本商品のプライマリSSIDをクリックし、「[接続]」をクリックする
- 4 本商品の暗号化キーを入力して「[次へ]」をクリックする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

※本商品のプライマリSSIDは、本商品本体のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。接続視認などの高速通信には5GHz帯の「[atern-XXXXXX-a]」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。

※接続に失敗した場合は、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

1 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンを右クリックする

2 「ネットワークとインターネットの設定を開く」 - 「[Wi-Fi]」 - 「[既知のネットワークの管理]」をクリックする

3 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックし、「[削除]」をクリックする

上記の手順が完了したら、手順④に戻って接続直してください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

接続事業者/プロバイダ情報の設定 (PPPoE)

- 1 「[装置情報]」に表示されているメッセージにしたがって、「[接続先の設定]」をクリックする
- 2 「[接続先設定]」画面で、接続事業者/プロバイダから提供されたインターネット接続設定用ID (ユーザ名・ユーザID・認証IDなど) とパスワードを入力する
- 3 「[設定]」をクリックする

※メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで「[OK]」をクリックしてください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

WPSに対応した無線LAN内蔵パソコンの場合

WPSで設定できます。

手順③の画面でボタン押下の案内が表示されたら、本商品のSETボタンを長押し (約6秒) し、POWERランプが緑点滅したら終了します。

しばらくしてWi-Fi接続が完了すると、POWERランプが約10秒間点灯します。

※本商品のPOWERランプが約10秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗している可能性があります。その場合は、手順①からやり直し、手順④の画面で暗号化キーを入力してください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

インターネットに接続後、最新のファームウェアにバージョンアップすることをお勧めします。(※裏面参照)

インターネットに接続できたら、STEP4へお進みください。

暗号化キーを変更した本商品にWi-Fi接続する

暗号化キーを変更した本商品に、ご利用の子機から手動でWi-Fi接続します。

本商品のネットワーク名 (SSID) およびSTEP4で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。(接続する子機は、18台以下をお勧めします。)

詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※チャンネルがW56に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「[使用チャンネル]」を「[W52]」または「[W53]」に設定してください。設定は、クイック設定Web (※裏面「クイック設定Webの起動方法」) の「[Wi-Fi (無線LAN) 設定]」 - 「[Wi-Fi詳細設定 (5GHz)]」画面で行ってください。

以下はWi-Fi接続方法の主な例です。

無線LAN内蔵パソコンの場合 (Windows 10の場合)

※以下のパソコンはサポートとはなりません。

- 1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする
- 2 通知領域 (タスクトレイ) にあるネットワークアイコンをクリックする
- 3 ネットワークの一覧の中から、本商品のプライマリSSIDをクリックし、「[接続]」をクリックする
- 4 STEP4で変更した本商品の暗号化キーを入力して「[次へ]」をクリックする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

※本商品のプライマリSSIDは、本商品本体のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。STEP2で接続したプライマリSSIDを選択してください。

4 [パスワード] に、STEP4で変更した本商品の暗号化キーを入力し、「[Join]」 (または「[接続]」) をタップする

5 ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する

iOS 端末の一例 Android 端末の一例

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、サポートデスクに掲載のユーザーズマニュアルを参照してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を[ユーザマニュアル](#)に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告：人が死亡する、または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷（※2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、発火、やけどなど後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさす。
（※2）軽傷：治療に入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをさしています。
（※3）物的損害：燃焼、腐食および腐食、ペーパーなどに付着した重大損害をさしています。

図記号の説明		
警告・注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
  	  	 
 	  	

警告

電源

- 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないよう注意してください。
- 電源コードを傷つけない、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。

- AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。
- AC アダプタにものをせたり布を掛けたりしないでください。

- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご利用ください。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まさぐり抜き差ししてください。特に、回転式の抜き差し型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

- 煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき
- 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。本商品を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下の点にご注意ください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご利用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
 - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - じゅうたんや布団の上に置く
 - テーブルクロスなどを掛ける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のはごりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。
- その他の注意事項（本体および添付品）
- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本商品の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。90 秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

無線 LAN 製品ご使用時ににおけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を読み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物を特定して盗聴し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えや発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を送り付けシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。
- 不正に入力される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物を特定して盗聴し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えや発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を送り付けシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。また、無線 LAN 製品は、セキュリティの認定を行って使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを求めます。セキュリティ対策を怠ることは、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー・PIN コードは初期値から変更していただく。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「TW-FI 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

●自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許認いただけない場合は、機能を無効にすることができます。なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※右記「クイック設定 Web の起動方法」）

【更新があったら、すべてバージョンアップする場合】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：OFF
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：OFF

※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「詳細な項目を表示」－「詳細設定」－「その他の設定」画面（ブリッジモードまたは中継機／子機として使用する場合は「基本設定」－「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加/変更を行います。意図しない機能追加/変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップ機能）に変更することもできます。

●自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※「重要な更新」とは、NEC プラットフォーム株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップまたは中継機／子機として使用する場合は「基本設定」－「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」画面にて設定できます。重要な更新がある場合は、事前にホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従って課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
●本機能は、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社が取り扱いはず、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合がございます。また、当社の取り扱う手続と同様に適切な管理を実施します。
●本機能は、工場出荷時に有効（ON）になっています。本機能に関して許認しただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（OFF）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。

＜ファームウェアのバージョンアップ手順＞

- クイック設定 Web を起動する。（※右記「クイック設定 Web の起動方法」）
- ホーム画面の「メンテナンス」－「ファームウェア更新」をクリックする
- 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
 - ※「ファームウェア更新不要」の画面が表示された場合は、ここで終了です。ログアウトをしてクイック設定 Web を終了してください。
- メッセージ画面が表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリックする
 - ※「ファームウェア更新」は実行し続けたい場合は「更新」をクリックしてください。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒…」と表示されるので、そのまましばらく待つてください。

●保守サービス機能は、本商品に対してインターネットを介して保守を行う機能です。保守サービスの実には、必要な最小限の機器情報・ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社が取り扱いはず適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合がございます。また、当社の取り扱う手続と同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許認したいたあると、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更されている場合があります。

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
●IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は法律により禁止されています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（U52）のモードと IEEE802.11a モードとの通信はできません。
●W52（5.2GHz 帯/36.40.44.48ch）、W53（5.3GHz 帯/52.56.60.64ch）、W56（5.6GHz 帯/100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140.144ch）が利用できます。5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52（5.2GHz 帯/36.40.44.48ch）
- W53（5.3GHz 帯/52.56.60.64ch）
- W56（5.6GHz 帯/100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140.144ch）

●W53（52.56.60.64ch）または W56（100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140.144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャネルの通信開始時に、1 分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。
- 通信中レーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この電波帯域には、電化製品などの産業・科学・医療機器のほか、他の同帯域無線、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体通信機器が無断で、免許を要しない特定「電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が適用されています。（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体通信用の帯域が回避可能です。回避方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	DS/OF	DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
	4	想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
IEEE802.11b/g/n	■■■	全帯域を使用し、かつ移動体通信用の帯域を回避可能であることを意味する

●本商品は 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
【この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。】

ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法はユーザマニュアルを参照してください。）

- デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を他帯域の無線局に対して干渉を与えない可能性があります。デュアルチャネルを「使用す」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
- 万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合は、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について	
この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを前提としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信機を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。	VCCI-B
高調波電流抑制対策について	
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品 <p>※消費電力 75W 以下のため適合</p>	

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされたソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがって、複製、頒布および改変することが可能です。詳細は「ユーザマニュアル」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などに準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への業務提携等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認ください。ご不明な点、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買上げの販売店または近隣の弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。本商品が廃棄された場合は、本商品に搭載された無線機能の増設やキーボードなどの情報が、第三者に漏洩しないよう、本商品を初期化してから廃棄することをお勧めします。（故障等で初期化できない場合を除く）

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の旨については完全を期して作られています。万が一不審な点や誤り・記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部原因によって通信などの機能を失ったために生じた損害などの補償請求につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策を怠ることは、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せわこの機能も不審な扱いや不測の事態（例えば落着や雷電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

- ご利用にあたり、考えられる代表的なトラブルとその対処を下記に記載します。
 - ※その他サポートデスク（※右記「お問い合わせ・保守サポート」）にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらもあわせて参照してください。
 - ※解決しない場合は、本商品を初期化（※下記「初期化方法」）し、はじめてから設定し直して再試してください。
- CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない**
 - ご利用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をセットする必要があり、本商品、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ACTIVE ランプが橙色に点灯している**
 - 故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルーター機能停止）で動作している状態です。（本商品を中継機／子機として使用する場合は、親機と 5GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。）
- クイック設定 Web が開かない**
 - ご利用のパソコンが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかつたり、通信が正常に行えない場合があります。
 - Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
 - IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。
 - Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除をお試しください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。暗号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定 Web（ホーム画面）の「詳細な項目を表示」－「メンテナンス」－「設定値の保存と復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に再画面にて復元することができます。（ただし、管理者パスワードは復元できません。）
※初期化後、本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、管理者パスワードは初期値から変更してください。（※STEP4）

- 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する
 - ※電源を入れた直後や電源を入れた直後の場合は、約 90 秒お待ちください。
- RESET スイッチを押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す
 - ※POWER ランプが赤点滅をはじめると約 8 ～ 10 秒かかります。
- 本商品から AC アダプタのプラグを取り外して、10 秒以上待つてから差し込む
- 約 90 秒待つ
 - ※側面（表）のランプが一齐に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定 Web」で設定します。

クイック設定 Web の起動方法	
<ul style="list-style-type: none">ルーターモード（ACTIVE ランプ：緑点灯または消灯）で使用する場合 <ul style="list-style-type: none">Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力し、起動してください。 <p>http://aterm.me/</p> <p>※「aterm.me」部分を、本商品の IP アドレス（工場出荷状態時は 192.168.10.1）にして起動することもできます。</p> ブリッジモード（ACTIVE ランプ：緑点灯）で使用する場合 <ul style="list-style-type: none">下記の手順で起動してください。詳細な方法は「ユーザマニュアル」を参照してください。 <ol style="list-style-type: none">本商品の電源をいったん切る <ul style="list-style-type: none">→本商品の強制 DHCP サーバ（機能）が起動します。起動中は CONVERTER ランプが緑点滅します。 Web ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.210/」を入力して起動する クイック設定 Web を終了し、電源を再点滅する場合は（強制 DHCP サーバ（機能）が停止するまで）、本商品を再起動してください。（ホーム画面の「詳細な項目を表示」－「メンテナンス」－「再起動」画面で「再起動」をクリックしてください。） 中継機／子機（CONVERTER ランプ：緑点灯または消灯）として使用する場合 <ul style="list-style-type: none">起動方法は「ユーザマニュアル」を参照してください。	

●ログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には管理者パスワードを入力して、「ログイン」をクリックしてください。
●管理者パスワードは、本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁の（パスワード（Web ポート）が初期値となります。この管理者パスワードは、初期値から変更してください。（※STEP4）なお、管理者パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更されたパスワードを入力してください。忘れた場合は、本商品を初期化すること（※左記「初期化方法」）。本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁の（パスワード（Web ポート）に変更します。
※クイック設定 Web で設定した内容は、「設定」をクリックすることで登録されます。

- 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続したスマートフォン/タブレット端末をご利用の場合
 - 「Aterm スマートリモコン」アプリ（無料）でも起動することができます。（ユーザマニュアル）
- 本商品と同一のネットワークに Wi-Fi 接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合
 - 「Aterm 検索ツール」でも起動することができます。（ユーザマニュアル）

ブリッジモード（ルーター機能停止）で使用する場合は

別途ご利用のルーターまたはルーター機能内蔵のロードバンドモデムなどに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルーター機能停止）を使用します。

ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

- 本商品の電源を切った状態で RT/BR/CNV モードの切替スイッチを BR 側に切り替
 - ※しばらくして ACTIVE ランプが点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
 - ※ルーター機能内蔵のロードバンドモデムなどの接続には、本商品の WAN ポートをご利用ください。
- STEP4** を参照して、本商品の暗号化キーと管理者パスワードを初期値から変更する

中継機／子機として使用する場合は

本商品は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットポート）として使用したりすることができます。
●本商品を中継機／子機として使用する際は、下記の手順で設定してください。詳細な設定方法は「ユーザマニュアル」を参照してください。
●設定の際は、親機の近くで設定してください。なお、下記手順の親機は、Aterm シリーズを例としています。

※下記手順では WPS を使用します。WPS を使用するには、親機の暗号化モードは「WPA3-SAE（AES）」、「WPA2-PSK（AES）」/「WPA3-SAE（AES）」、「暗号化モード」以外のモードにしてください。

- 本商品の管理者パスワードを初期値から変更する
 - 初期値からの変更は、ルーターモード（RT/BR/CNV モード）の切替スイッチが RT 側）で行います。
 - STEP1 の手順④、⑤→STEP2→STEP4 の手順④、⑤を実施してください。
- 本商品の SET ボタンを長押しして、POWER ランプが緑点灯したら放す
 - 親機の WPS フォンショボタ（SET ボタン、無線ボタン、らくらくスタートボタンなど）を長押しして、親機の POWER ランプが緑点滅したら放す
 - 本商品の POWER ランプが点灯することを確認する
 - ※しばらくして本商品の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが緑点灯または点滅します。

お問い合わせ・保守サポート

■ ホームページ「サポートデスク」	
https://www.aterm.jp/support/w2600hs2/index.html	

・Aterm の機能、操作、設定についてご不明な点がある場合は、サポートデスクを参照してください。サポート情報の閲覧やソフトウェアのダウンロード、「Q&A」でご不明な点の検索などができます。
【故障かな?】と思われる場合は、本冊に記載の「トラブルシューティング」をご確認ください。
・Aterm インフォメーションセンターの窓口については、サポートデスクの「お問い合わせ」をご確認ください。

■ 保守サポート期間

本商品の補償性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品、以下、保守部品）は、販売終了後、約 5 年間保証しております。
・保守部品の保有期間（以下、保守期間）が終了しますと、修理受付や添付品の販売受付も終了いたします。また、電話などによるお問い合わせサポート業務も終了させていただきます。あらかじめご了承ください。
・保守期間の確認は、「Aterm のサポート期間について（https://www.aterm.jp/support/inquiry/hoshu_list.html）」を参照してください。


^[1] Aterm、らくらく QR スタートは、NEC プラットフォーム株式会社の子会社登録商標です。
^[2] Wi-Fi、Wi-Fi Alliance は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
^[3] Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

^[4] Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
^[5] Google Chrome、Android は、Google LLC の米国およびその他の国における登録商標です。
^[6] OneDrive、Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

^[7] Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
^[8] FOR コードは、株式会社デンソーエーピーの登録商標です。
^[9] その他、各会社名、各商品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

^[10] NEC Platforms, Ltd. 2020-2024 NEC プラットフォーム株式会社の子会社。複製、改訂、および複製物を配布することはできません。